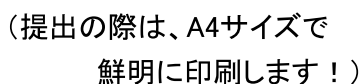




◎極めて燃え難い防滑用コート材



◎外部試験機関で実施した「UL94V法試験結果」を提示することにより、消防署等からの査察があっても「火気厳禁」エリアへの塗布が認可されます！





試験報告書

平成 28 年 11 月 9 日

№.412 品名: 3681

1. 依頼者: 関西化学工業株式会社 部

2. 受付日: 平成 28 年 10 月 17 日

3. 件名: 950 級品検査依頼

4. 試料: KAN-NATE ユーベットのコート 1 点

5. 検査方法: JIS K 1906 (UL Standard for Safety for Tests for Flammability of Plastic Materials for Parts in Electrical Appliances: 50W 120 mm) 加温燃焼試験

試験片の形状・寸法:
 試験片形状: (約) 125 mm × 13 mm × 5 mm
 表面処理: (1) 323 ± 2, 50 ± 5 (1) 21 48 時間以上
 試験雰囲気: 220 ± 1 °C × 99 時間 → 規定 29 ± 6 度, ゼンケータ内 4 時間以上
 試験用試薬: 水酸化ナトリウム 40 重量%
 炎源の材料: メタノール
 燃焼試験機: 1. メガ試験機 燃焼試験機 UL-94V

6. 試験結果

UL-94 (50W/120mm) 燃焼試験結果
 前処理: (1) 323 ± 2, 50 ± 5 (1) 21 48 時間以上

検 査 項 目	1 検 査 項 目					2 検 査 項 目				
	m1	m2	m3	m4	m5	m1	m2	m3	m4	m5
第 1 試験片後の残存時間 t_1 (秒)	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—
第 2 試験片後の残存時間 t_2 (秒)	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—
第 3 試験片後の残存時間 t_3 (秒)	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—
5 検 査 1 回の試験片に 10 秒間 燃焼した後の残存時間合計 (秒)	0					—				
第 2 回試験片した後の残存時間 残した時間の合計 $t_2 + t_3$ (秒)	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—
3 検 査 1 サンプルでの燃焼の痕跡	無	無	無	無	無	—	—	—	—	—
約 500 mm 以下に、かつ燃焼開始直 後入火を止めた時の状態	無	無	無	無	無	—	—	—	—	—
判 定	UL-94 V-0 適合									

前処理: (220 ± 1 °C × 99 時間 → 規定 29 ± 6 度, ゼンケータ内 4 時間以上)

検 査 項 目	1 検 査 項 目					2 検 査 項 目				
	m1	m2	m3	m4	m5	m1	m2	m3	m4	m5
第 1 試験片後の残存時間 t_1 (秒)	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—
第 2 試験片後の残存時間 t_2 (秒)	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—
第 3 試験片後の残存時間 t_3 (秒)	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—
5 検 査 1 回の試験片に 10 秒間 燃焼した後の残存時間合計 (秒)	0					—				
第 2 回試験片した後の残存時間 残した時間の合計 $t_2 + t_3$ (秒)	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—
3 検 査 1 サンプルでの燃焼の痕跡	無	無	無	無	無	—	—	—	—	—
約 500 mm 以下に、かつ燃焼開始直 後入火を止めた時の状態	無	無	無	無	無	—	—	—	—	—
判 定	UL-94 V-0 適合									

次回に続く

以下に
(受) №.412-10 (107)

この試験報告書を転載するときには、事前に本機構の承認を受けてください。



すべり止めコートの難燃性に関して

◇UL94V法試験◇

UL規格とはUL (Underwriters Laboratories Inc.) が認定を行っている、アメリカにおいて主に電気製品に対する安全規格です。

UL94V法試験は、UL規格に準拠したプラスチック材料の燃焼試験です。対象物、試験方法(接炎方法・炎の強さ)の違いにより5種類の試験方法があります。①プラスチック材料:『V』・『5V(垂直接炎)』・『HB(水平接炎)』、②フィルム:『VTM(垂直接炎)』、③発泡体:『HBF(水平接炎)』

◇UL94V法試験方法◇

【20mm垂直燃焼試験 (IEC60695-11-10 B法, ASTM D3801)】

試験片(125±5×13±0.5×t mm)をクランプに垂直に取付け、20mm炎による10秒間接炎を2回行い、その燃焼挙動によりV-0、V-1、V-2、Notの判定を行います。

試験片の前処理条件:

- ①23±2℃、50±5%RH 48時間以上
- ②70℃±1℃×168時間 → 温度23℃±2℃
デシケータ内で
4時間以上

試験室温湿度:

24℃、45%RH

点火器の熱源:

メタンガス

※RH: 相対湿度 (Relative Humidity)

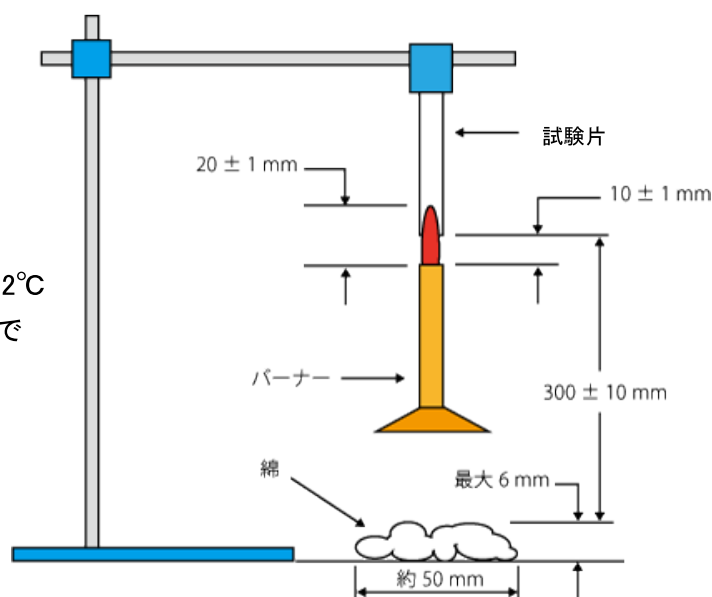


図 V-0、V-1、V-2 の垂直燃焼試験

◇UL94Vの判定基準◇

判定基準	燃焼性分類		
	V-0	V-1	V-2
5本の試験片の燃焼時間	10秒以下	30秒以下	30秒以下
5本の試験片の合計燃焼時間	50秒以下	250秒以下	250秒以下
5本の試験片の燃焼+グローイング時間	30秒以下	60秒以下	60秒以下
クランプまでの燃焼	なし	なし	なし
滴下物による綿の着火	なし	なし	あり

◇補足◇

V-0適合とは : いずれの接炎の後も、10秒以上燃焼を続ける試験片がなく、
5個の試験片において 10回の接炎に対する総燃焼時間が 50秒を超えない。
固定用クランプの位置まで燃焼する試験片がない。
試料の下方に置かれた脱脂綿を発火させる 燃焼する粒子を落下させる試験片がない。
2回目の接炎の後、30秒以上赤熱(グローイング)を続ける試験片がない。

以上